

送セリ所轄愛宕署ニ於テ二十五名検挙取調中
 四本月二日午後零時五分頃争議團員十柙民権外九名ハ麹町區
 紀度井町三ノ元信社印刷所ニ至リ守衛ヲ制止シ背ニスレテ
 事務所ニ入り稲葉工場長(野村ト親交アリ)ニ面會シ強要
 シタルモ不在ナリト拒絶ハラレ引揚ケタルカ其際何者カ道
 路ヨリ應接室ニ對シ土塊(壁)一箇(約五百枚位)ヲ投ケタリ
 犯人所轄署ニ於テ捜査中
 右及申(通)報候也

労働大衆の暴力で

俺達の工場を奪還せよ!!

五月二十六日の公判に押しかける!

野村印刷争議團は去る四月十七日(日曜日)突如、襲来した執達吏によつて、
 工場から放り出されて以来すでに三十餘日を闘ひ續けてゐます。こ
 の争議は、普通の工場ストライキとは異つて、いつた人は労働者の管理となつた工場を
 工場に、眼裏分といふ悪法律のために手とられたのであります。俺達の工場を返
 工場立入禁止の恒産分に反対だといふ要求で闘つてゐるのです。恰度、小作人の
 立入禁止反対となじ性質だから、正式な裁判上の手續をとると同時に、労働者の
 大衆的壓力によつて、正式堂々と闘つてゐる争議なのです。
 昨年、工場閉鎖に反対した我々は野村惣吉との間に、公文書を以て、向ふ三
 月十六日野村圓の賃貸料で労働者管理となり、職をなめてい」といふ固い決意
 書に、四月なかばまで、豫想外の好成績をあげて來たのです。ところが、オヤ
 ン、この好成績を見て、居ても立つてゐられず「不穏分子が流入して、機械、
 建物をヘカキする恐れがある」といふ偽申請書を以て日曜日であるにも拘らず、假
 分を執行せしめらるに至つたのです。
 俺達なる全労働者諸君!
 資本家がやめてゆけんと放り出した時、工場閉鎖を以て産業合理化の犠牲を強制した
 労働者は、その工場を労働者の手で管理し經營すること闘はねばなりません。そ
 の、生きる道がないのです。そして、我々も亦、資本家との合議の上で労働
 者の手元管理し、立派にやつて行けることを實踐して來たのです。ところが、
 資本家は「オヤン、お前が法律を悪用して、我々四十人の労働者とその家族の生活を奪ひと
 るのだ。我々は、あくまで、工場を返せ!工場立入禁止に反対だ!」と云つて闘つてゐ
 るのです。
 俺達なる兄弟諸君!
 五月二十六日に開かれます。
 この公判が、労働者の正義の叫びに勝利を投げ與へるか、それとも、悪辣なる強盜と
 同様に、野村印刷工場に、暴力閉鎖に勝利の軍配をあげるかの日です。
 労働者を奪ひ返すか、それとも、労働者の生活權のために労働者管理を
 許さぬかのための重大な日とされるのです。
 五月二十六日の公判に、我々四十人の労働者とその家族の生活を奪ひと
 るのだ。我々は、あくまで、工場を返せ!工場立入禁止に反対だ!」と云つて闘つてゐ
 るのです。

芝田濱松町三ノ三六
野村印刷争議團
東京出版労働組合